

講演者：長岡昇勇（近畿大学理工学部）

講演題目：Serre's p -adic modular forms

講演要旨

J.-P. Serre は論文

“Formes modulaires et fonction zêta p -adiques”

において、 p 進 modular 形式の概念を定義し、その性質を考察した。通常 ($SL_2(\mathbb{Z})$ に関する) modular 形式は q 展開を通して、 \mathbb{C} 係数の冪級数とみなされるが、 p 進 modular 形式は、有理係数の modular 形式の列の p 進一様収束した極限冪級数として定義される。

もちろん、通常 ($SL_2(\mathbb{Z})$ に関する) modular 形式を含む概念で、たとえば、 $P = 1 - 24 \sum \sigma_1(n)q^n$ は良く知られているように、通常の意味では modular 形式とはならないが、weight が 2 の p 進 modular 形式となることが示される。また、 $\Gamma_0(p)$ に対する modular 形式は全て p 進 modular 形式となっている。

p 進 modular 形式の理論の応用の一つとして、 p 進 zeta 関数の構成に関するものがある。Serre の理論においては、まず、有理係数をもつ modular 形式の列が p 進的に収束すれば、それらに対応する weight の列もある意味で p 進的に収束するということが示される。これより、 p 進 modular 形式において (Fourier 展開の) 定数項以外の p 進的性質は、定数項に「遺伝する」ことが示される。これを Eisenstein 級数に適用すれば、定数項以外の「約数の冪和」の p 進的性質（これは容易）が、定数項の zeta 関数の p 進的性質に「遺伝して」Kubota-Leopoldt の p 進 L -関数が得られるという仕掛けである。これは、すでに得られている p 進 L -関数の新しい構成法と考えられるが、Hilbert modular 形式を考えることにより、総実代数体の zeta 関数の p 進的性質が得られる。その idea は次の通りである。まず与えられた総実代数体に対する Hilbert modular 群上の Eisenstein 級数を考え、定数項にその体の zeta 関数が現れるよう正規化しておく。そこで、変数を diagonal に制限すると ($SL_2(\mathbb{Z})$ に関する) 一変数の modular 形式が得られ、再び定数項以外の p 進的性質が定数項に反映して、総実代数体の zeta 関数の p 進的性質が得られるというものである。

p 進 modular 形式の概念はその後直ちに、Katz 等により別の定式化がされ、研究されている。総実代数体の zeta 関数の p 進的性質については、Deligne-Ribet により直ちに精密化されている。また、最近 E. Goren を中心に p -adic modular 形式の理論の研究が復活している。これらについては、他の講演で紹介されると思われる。

参考文献

- [1] F. Andreatta and E. Z. Goren: Hilbert modular forms: mod p and p -adic aspects, to appear in the Memoirs of the AMS.
- [2] P. Deligne and K. A. Ribet: Values of abelian L -functions at negative integers over totally real fields, *Invent. Math.* **59**(1980), 227-286.
- [3] E. Z. Goren: Hasse invariants for Hilbert modular varieties, *Israel J. Math.* **122**(2001), 157-174.
- [4] E. Z. Goren: Hilbert modular forms modulo p^m - unramified case, *J. Number Theory* **90**(2001), 341-375.
- [5] F. Q. Gouvêa: Arithmetic of p -adic modular forms, *Lecture Notes in Math.*, vol. 1304, Springer, Berlin, 1988.
- [6] K. Iwasawa: Lectures on p -adic L functions, *Ann. Math. Studies* 74, Princeton Univ. Press, 1972.
- [7] N. M. Katz: p -adic properties of modular schemes and modular forms, *Modular Functions of One Variable. III*(Antwerp,1972), *Lecture Notes in Math.*, vol. 350, Springer, Berlin, 1973, 69-190.
- [8] N. M. Katz: Higher congruence between modular forms, *Ann. of Math.* **101**(1975), 332-367.
- [9] N. M. Katz: p -adic interpolation of real analytic Eisenstein series, *Ann. of Math.* **104**(1976), 459-571.
- [10] T.Kubota and H.W.Leopoldt: Eine p -adische Theorie der Zetawerte, *J. Crelle* **214-215**(1964), 328-339.
- [11] J.-P.Serre: Congruences et formes modulaires (d'après H.P.F.Swinnerton-Dyer), *Sém.Bourbaki*, 1971/72, *Annuaire du College de France*, 1972/73, Paris, p.55-60.
- [12] J.-P.Serre: Formes modulaires et fonction zêta p -adiques, *Modular Functions of One Variable. III*(Antwerp,1972), *Lecture Notes in Math.*, vol. 350, Springer, Berlin, 1973
- [13] H.P.F.Swinnerton-Dyer: On l -adic representations and congruences for coefficients of modular forms, *Modular Functions of One Variable. III*(Antwerp,1972), *Lecture Notes in Math.*, vol. 350, Springer, Berlin, 1973